

## 抗癌剤併用時におけるデノスマブによる顎骨壊死(がっこつえし)について

### 1. 研究の対象

2015年1月から2017年12月までの間に、当院においてデノスマブや同じ働きをするビスフォスフォネート製剤を投与された方。

### 2. 研究目的・方法

デノスマブは様々ながんの骨転移による骨病変の進展を抑える薬で、よく使用されています。しかしながら、このお薬を使用している人に、あごの骨の壊死(えし)、あごの骨の骨髄炎(こつずいえん)がおこることがあります。この副作用の報告の多くが、抜歯などの歯の治療などに関連していますが、詳細なことはよく分かっていません。

そこで今回は、デノスマブ等を使用した患者さんに、あごの骨の壊死(えし)が起こったかどうか、歯の治療歴など副作用発生に関連する因子を検討することを目的とし、電子カルテ(診療録)の情報を後方視的に調査します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテから、がんの種類、治療内容、抗癌剤治療の有無、その他日常診療で得られた年齢や身長・体重などの臨床データ等を採取し解析する予定です。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究責任者：

防衛医科大学病院 薬剤部 関谷 律子

住所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

TEL：04-2995-1211（代表）内線：3052